

揖保川水系河川整備計画段階における環境等影響分析

〔環境・社会・経済・技術面での影響分析〕

分析報告書

(案)

平成 20 年 1 月 29 日

国土交通省 近畿地方整備局

目次

まえがき

第1章 事業者	1-1
第2章 河川整備基本方針の概要	2-1
2.1 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針	2-1
2.1.1 災害の発生の防止又は軽減	2-1
2.1.2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持	2-2
2.1.3 河川環境の整備と保全	2-2
2.2 河川の整備の基本となるべき事項	2-3
2.2.1 基本高水並びにその河道及び 洪水調節施設への配分に関する事項	2-3
2.2.2 主要な地点における計画高水流量に関する事項	2-3
2.2.3 主要な地点における計画高水位及び 計画横断形に係る川幅に関する事項	2-4
2.2.4 主要な地点における流水の正常な機能を 維持するため必要な流量に関する事項	2-4
第3章 流域及び河川の概要	3-1
3.1 揖保川の流域の概要	3-1
3.2 流域・河川の現状の把握	3-2
3.2.1 流域における現状の把握	3-2
3.2.2 河川における現状の把握	3-14
3.3 歴史的変遷の把握	3-64
3.3.1 自然的状況	3-64
3.3.2 社会的状況	3-77
3.3.3 歴史的変遷のまとめ	3-90
第4章 揖保川水系の望ましい姿	4-1
第5章 河川整備計画における整備と保全の方向性	5-1
5.1 治水に関する整備の方向性	5-1
5.2 利水に関する整備の方向性	5-4
5.3 河川環境の整備と保全の方向性	5-4

第6章 複数案の設定	6-1
6.1 整備と保全の具体的方策の検討	6-1
6.1.1 治水の具体的方策	6-1
6.1.2 利水の具体的方策	6-3
6.1.3 環境の具体的方策	6-3
6.2 複数案の設定	6-6
6.2.1 考えられる案の整理	6-6
6.2.2 河川環境の整備と保全の方向性の達成度	6-26
6.2.3 抽出した複数案	6-28

第7章 環境影響分析	7-1
7.1 環境要素の選定及び理由、分析手法	7-1
7.1.1 環境要素の選定	7-1
7.1.2 環境要素の選定理由	7-2
7.1.3 環境要素の分析手法	7-4
7.2 環境要素についての分析	7-9
7.2.1 水質	7-9
7.2.2 湧水	7-28
7.2.3 地下水	7-32
7.2.4 地盤	7-35
7.2.5 動物	7-36
7.2.6 植物	7-59
7.2.7 生態系	7-69
7.2.8 景観	7-125
7.2.9 人と自然との触れ合いの活動の場	7-135
第8章 環境の保全の方向性についての影響分析	8-1
8.1 環境の保全の方向性の選定及び理由、分析手法	8-1
8.1.1 環境の保全の方向性の選定	8-1
8.1.2 環境の保全の方向性の選定理由	8-3
8.1.3 環境の保全の方向性の分析手法	8-6
8.2 環境の保全の方向性についての分析	8-8
8.2.1 良好な水質の保全	8-8
8.2.2 横断方向の連続性に配慮した河原植生の保全	8-9
8.2.3 瀬、淵、ワンド、たまり、湧水域、河床の保全	8-17
8.2.4 丸石河原の保全	8-29
8.2.5 ヨシ群落、ツルヨシ群集、オギ群集の保全	8-35
8.2.6 湿性植物の保全	8-41
8.2.7 河畔林の保全	8-45
8.2.8 干潟の保全	8-48

第9章 社会・経済・技術的課題についての影響分析	9-1
9.1 社会・経済・技術的課題の選定	9-1
9.1.1 社会的影響の選定	9-1
9.1.2 経済的影響の選定	9-1
9.1.3 技術的課題の選定	9-1
9.2 社会的影響の分析	9-2
9.2.1 事業に伴う移転軒数	9-2
9.2.2 工事に伴う交通規制の程度	9-3
9.2.3 土地の利用規制の程度	9-5
9.2.4 想定氾濫域の程度	9-10
9.2.5 避難回数の程度	9-16
9.2.6 流域のまちづくりへの影響	9-18
9.3 経済的影響の分析	9-21
9.3.1 建設事業費の程度	9-21
9.3.2 維持管理費の程度	9-22
9.3.3 年平均被害額の程度	9-23
9.4 技術的課題の分析	9-25
9.4.1 発生土砂量	9-25
9.4.2 掘削及び横断工作物改築に伴う河道の安定性	9-26
第10章 複数案の比較	10-1



本資料の範囲